

| 生活 | | 東書（東京書籍株式会社） |
|--------------|--------------------|--|
| 総評 | | <p>「学びをふかめる」ための気づきの質を高める深い学びの姿が具体的に示されているだけでなく、子どもの学習活動について、思考ツールなどを活用して示した板書などが授業風景として示されており、授業改善につながるよう工夫されている。</p> <p>挨拶、言葉遣いなどが、子どもの具体的な姿で随所に示されたり、資料として掲載されたりしていることが道徳的生活習慣の育成につながる等、他教科との関連を考慮した表現活動例が掲載されている。</p> <p>スタートカリキュラムとして上巻の最初に工夫した構成で示されており、入学当初の指導に使いやすく工夫されており、全ての子どもが安心して登校するための手立てとなる。</p> <p>A4版でページ数も多いため、低学年の子どもが持ち運びするには重い。</p> |
| 特に優れている点 | 1 大阪市教育振興基本計画等との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びをふかめる」というコーナーで気づきの質を高める深い学びの姿が具体的に示されている。③(P.53 ほか) ○ 板書などが授業風景として示されており、授業改善につながるよう工夫されている。③（上P.74 下P.82 ほか） ○ 安全について取り上げているページが他者に比べて多く充実している。①（上P.36 ほか） |
| | 2 内容の取扱い | <ul style="list-style-type: none"> ○ 挨拶、言葉遣いなどが、子どもの具体的な姿で随所に示されたり、資料として掲載されたりしていることで道徳的生活習慣の育成につながる。③(下P.100 ほか) ○ スタートカリキュラムとして上巻の最初に他と違う構成で示されており、入学当初の指導に使いやすく工夫されている、⑦ ○ ならべて見つける、分けて見つけるなど、生活科で重要な学習活動を具体的な活動例として掲載している。⑥(下P.122 ほか) |
| | 3 外的要素 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の最初には活動につながるような言葉がつぶやきの形で提示され、フォントも大きくなっているの、分かりやすい。②(上P.16 など) ○ 図鑑としても使えるように植物や昆虫の写真が適切な大きさでまとめて配置されている。③(上P.28、P.29、下P.11、P.13、P.34、P.35) |
| | 4 構成・配列 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他教科(国語、図工、算数など)との関連を考慮した表現活動例が豊富に掲載されている。① ○ 単元名や手洗いマーク、やくそくなどの記載を紙面の同じ位置に掲載しているため、支援を要する子どもだけでなく、全ての子どもにとってわかりやすくなっている。① ○ 子どもの活動写真が分かりやすく、振り返りやすく工夫されている。②(下P.109 ほか) |
| | 5 資料・その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ほんとうのおおきさぼけつとずかん(上巻)、かつどうべんりてちょう(上下巻)は、活動時に児童が主体的に利用できる。①② ○ 身近なたねの発芽写真は子どもの知的好奇心を高める。②(下P.21) |
| 特に工夫・配慮を要する点 | 1 大阪市教育振興基本計画等との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表現方法の例示が、下巻末の「まとめようつたえよう」に掲載されているが、上巻においても多様な表現活動の例があるとよい。④ |
| | 2 内容の取扱い | <ul style="list-style-type: none"> ○ 観察カードのパターンが少なく、多様な視点での観察を促すためには工夫が必要である。② |
| | 3 外的要素 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真や資料が多く見やすいがA4版でページ数も多く(上P.123 下、P.129)低学年には重い。① |
| | 4 構成・配列 | <ul style="list-style-type: none"> ○ たくさんの活動例が示されているが、生活に活かすという観点の表記は少ない。② |
| | 5 資料・その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者向けのコメントは全ての家庭に周知し理解を得ることに課題がある。① |

| 生 活 | | 大日本（大日本図書株式会社） |
|--------------|--------------------|---|
| 総 評 | | <p>児童が興味・関心をもち主体的な活動を行えるよう各単元の導入ページに見開きの写真が掲載されている。</p> <p>発達段階に応じて、伝えあい、交流する場面を設け、児童が自分と身近な人々との関わり等に気づけるよう工夫されている。</p> <p>児童自らが気づき、つぶやけるような発問・文言の工夫が必要である。</p> <p>全ての児童が興味をもって意欲的に活動できるよう個々の児童の実態等を考え、「かぞくとすごすなつやすみ」のタイトルと写真について課題がある。</p> |
| 特に優れている点 | 1 大阪市教育振興基本計画等との関連 | <p>○ 各単元の導入ページに見開きの写真を用いることで、児童の想像の世界が広がり、興味・関心を引き出すことで主体的な活動へとつながるよう工夫されている。③</p> |
| | 2 内容の取扱い | <p>○ 上巻の冒頭にはスタートカリキュラムに配慮したページを設け、学校生活の楽しさや学校生活への見通しをもつことで不安を解消し、幼児教育から小学校教育への円滑な接続が図れるよう工夫されている。⑦</p> <p>○ 発達段階に応じて、伝えあい、交流する場面を設け、気づきを共有化したり、気付きの質を高めたりできるよう工夫されている。また、様々な表現方法の例示や、発表の仕方（文末表現等）も含まれている。④</p> |
| | 3 外的要素 | <p>○ 表紙の絵は、一部が盛り上がり、触れることで感覚を楽しむことができる。また、色づかいも明るく、児童が興味・関心をもてるよう工夫されている。③</p> <p>○ 学習課題が赤い風船型の枠に明示されていて、児童が課題を意識して活動できる。（上巻P.8）①</p> |
| | 4 構成・配列 | <p>○ 生活科と他教科との関連が深いところにマークが入っており、教科横断的な視点で単元をとらえられるように工夫されている。（上巻P.5）①</p> <p>○ 学習指導要領の目標・内容に則し、児童の興味・関心や発達段階に応じて適切に対応できるよう構成・配列されている。①</p> |
| | 5 資料・その他 | <p>○ 探検カメラなど、児童が興味をもって意欲的に活動できるよう工夫されている。（上巻P.8）②</p> <p>○ モノクロ写真を使用することで、児童の想像力を刺激し、想像する楽しさや実際に見て知る楽しさを感じることができる。（上巻P.62）②</p> |
| 特に工夫・配慮を要する点 | 1 大阪市教育振興基本計画等との関連 | <p>○ 道徳との関連について明示されているが、さらに道徳的心情を高める工夫（吹き出し）が必要である。⑤</p> |
| | 2 内容の取扱い | <p>○ 挿絵に添えられた吹き出しの言葉が具体的過ぎる。児童自らが気づき、つぶやけるような発問・文言の工夫が必要である。（上巻P.81）②</p> |
| | 3 外的要素 | <p>○ 下巻の探検ライトの使い方が分かりにくい。円の部分に切り取り線が必要である。（下巻P.113）③</p> |
| | 4 構成・配列 | <p>○ 学んだことをその後の生活に生かす具体的な場面をさらに増やす必要がある。②</p> |
| | 5 資料・その他 | <p>○ 個々の児童の実態等を考え、「かぞくとすごすなつやすみ」のタイトルと写真について課題がある。（上巻P.42）②</p> |

| 生活 | 学図（学校図書株式会社） | |
|--------------|---|---|
| 総評 | <p>4人の登場キャラクターの対話をきっかけに新たな発見や気づきを友達と交流することにより、自分の考えを変容させていくとともに、他人を思いやる気持ちを大切に、豊かな人間性を育むような構成の工夫がされている。</p> <p>活動を通して得られた子どもの気づきや思いを、カード、作文、手紙、劇化などのさまざまな方法で表現する活動が例示されており、他教科との関連が図られている。</p> <p>文字量が多い部分があり、児童によっては、学習意欲につながらない場合も考えられる。</p> <p>さまざまな表現方法は例示されているものの、幼児教育時の活動を想起するためのヒントとなる言葉などがあると、児童が学びを生かしている実感をもちやすくなる。</p> | |
| 特に優れている点 | 1 大阪市教育振興基本計画等との関連 | <p>○ 4人の登場キャラクターが共に悩み、喜び、励まし合い、時には対立するなど様々な対話場면을構成している。また、対話を通して、自分の考えを変容させていくとともに、他人を思いやる気持ちを大切に、豊かな人間性を育むような構成の工夫がされている。①⑤</p> <p>○ 活動を通して得られた子どもの気づきや思いを、カード、作文、手紙、劇化などのさまざまな方法で表現する活動が例示されている。④</p> |
| 2 内容の取扱い | <p>○ 活動や体験の内容ごとにテーマをもった大単元として構成しており、具体的な活動を通して「何を、どのように学習する」がわかりやすいように配慮されている。また、各単元の冒頭では、子どもの思いや願いを喚起し、具体的な活動や体験を通して、児童自らが解決していくことを促している。①</p> <p>○ 「単元とびら」などで幼保での既習経験を想起して学習へとつなげていく工夫がされている。⑦</p> | |
| 3 外的要素 | <p>○ 表紙は厚い用紙が使われ、汚れや濡れに強いコーティングが施されている。また、開きやすく、のどの部分が見やすい。①</p> <p>○ 記号やマーク表示をできるだけおさえ、シンプルで見やすい紙面である。④</p> | |
| 4 構成・配列 | <p>○ 主に表現活動を中心に他教科との関連が図られている。また、上P.37、下P.99のように手紙や作文を作成する場面も多く、話す・聞く・書くといった国語的要素とのつながりも工夫されおり、巻末資料としてまとめている。①</p> | |
| 5 資料・その他 | <p>○ 「ものしりノート」や「ちゃれんじずかん」など図鑑のページが充実しており、児童が興味をもち、学習意欲がわくよう工夫されている。②</p> | |
| 特に工夫・配慮を要する点 | 1 大阪市教育振興基本計画等との関連 | <p>○ キャラクターや各単元のカード類などからの情報量が多く、児童の考えや思いを发表或し、判断したりする活動の場面では課題がある。④</p> |
| 2 内容の取扱い | <p>○ 幼児教育時の活動を想起する場面が少ないため、これまでの自己の体験や思いをつなげにくい。⑦</p> | |
| 3 外的要素 | <p>○ ノートの書き方(下P.40、P.41)のように文字量が多い部分があり、児童によっては、学習意欲につながらない場合がある。②</p> <p>○ 挿絵に統一感があると工夫ができる。③</p> | |
| 4 構成・配列 | <p>○ さまざまな表現方法は例示されているものの、幼児教育時の活動を想起するためのヒントとなる言葉などがあると、児童が学びを生かしている実感をもちやすくなる。②</p> | |
| 5 資料・その他 | <p>○ 特になし。</p> | |

| 生 活 | | 教出（教育出版株式会社） |
|--------------|--------------------|---|
| 総 評 | | <p>気づいたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、言葉や絵、動作、劇化などの方法によって他者と伝え合ったり、振り返ったりする具体的な活動が繰り返し例示されており、豊かな表現力等の育成や気づきを高められるよう配慮された内容となっている。</p> <p>道徳と密接なかかわりがある学習活動においてはコラムや特設ページで適宜取り上げられており、児童が進んで具体的な活動に取り組み、豊かな心や創造性の涵養をめざした教育の充実につながる。</p> <p>身近な人や社会などの学習対象者の思いや願い、よさが言葉で表現されている部分があり、児童が気づきづらい。</p> <p>写真や挿絵が多く、児童に気づかせたい場面や学習のねらいを焦点化するのに課題がある。</p> |
| 特に優れている点 | 1 大阪市教育振興基本計画等との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、言葉や絵、動作、劇化などの方法によって他者と伝え合ったり、振り返ったりする活動が繰り返し例示されており、豊かな表現力等を育成できる。④ ○ 道徳と密接なかかわりがある学習活動においてはコラムや特設ページで適宜取り上げられており、豊かな心や創造性の涵養をめざした教育の充実につながる。⑤ |
| | 2 内容の取扱い | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「まんぞくハジゴ」が各単元で繰り返し設定されており、児童が進んで活動に取り組んだり生活したりしたいといった意欲や、できるという自信を育む構成の工夫がされている。⑤ ○ 各単元にコラム「ヒント」が設けられており、見つける、比べるなどの学習方法を繰り返し行えるような工夫がなされている。また、試して、工夫してのように、これらの学習方法を使う学習活動が豊富に設定されている。⑥ |
| | 3 外的要素 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「いぐら」をはじめとする児童の目線にたったキャラクターが登場し、児童の気づきや思いを大切にできる。① ○ 色覚等の特性をふまえた判読しやすい配置やレイアウト、表現方法、文字(ユニバーサルデザインフォント)を採用し、児童にとって読みやすい工夫がされている。④ |
| | 4 構成・配列 | <ul style="list-style-type: none"> ○ P.117の「学びのポケット」にあるように、他教科の知識・技能を各単元内容につなげることができるか整理されており、生活科で学んだことを他教科で活用したり、他教科で学んだことを生活科で活用したりと教科等横断的に効果的な指導につなげることができるよう配慮された構成になっている。① |
| | 5 資料・その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元において適宜コラムや特設ページなどを設け、学習内容をより深めたり、発展させたりできるように工夫されている。① |
| 特に工夫・配慮を要する点 | 1 大阪市教育振興基本計画等との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「もうすぐ2年生」の単元では「えらい」「かっこいい」などの表現が用いられており、さまざまな価値観をもつことができない。⑤ |
| | 2 内容の取扱い | <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な人や社会などの学習対象者の思いや願い、よさが言葉で表現されている部分があり、児童が気づきづらい。② |
| | 3 外的要素 | <ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターなどの言葉の文字の大きさがやや小さく読みにくい。② ○ 挿絵に統一感があると工夫ができる。③ |
| | 4 構成・配列 | <ul style="list-style-type: none"> ○ さまざまな表現方法は例示されているものの、振り返るためのヒントとなる言葉などはないため児童が学びを生かしている実感を持ちにくい。② |
| | 5 資料・その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真や挿絵が多く学習のねらいを焦点化するのに課題がある。② |

| 生活 | 光村（光村図書出版株式会社） | |
|--------------|---|--|
| 総評 | <p>子どもの思考を促す工夫として、「どうすれば」のコーナーはすべて最後の欄が自分で考えるようになっており、学習したことを生活の中にかいたり、さらに深めたりすることができるようにしている。</p> <p>子どもの様々な活動を考え出すことができるよう、具体的な例示は少なめになっており、学校や地域の実態に合わせて学習活動を構成できるようになっている。</p> <p>植物や昆虫など実物の写真が少ないので、自然と触れ合ったり関わったりする具体的な活動の際には指導方法の工夫が必要である。</p> <p>子どもの書いたカード、ワークシートなどが小さい。</p> | |
| 特に優れている点 | 1 大阪市教育振興基本計画等との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの思考を促す工夫として「どうすれば」のコーナーはすべて最後の欄が自分で考えるようになっている。（上P.25ほか）④ ○ 指導者の裁量で、子どもの様々な活動を考え出すことができるよう、具体的な例示は少なめになっている。③ |
| | 2 内容の取扱い | <ul style="list-style-type: none"> ○ きせつのおくりものというコーナーは、定点で描いたイラストで四季の変化をとらえやすく気付きを深める工夫がみられる。② ○ 子どもの活動を限定せず、学校や地域の実態に合わせて学習活動を構成できるようになっている。⑥ ○ もっとやってみようというコーナーを設け、学習したことを生活の中に活かしたり、さらに深めたりすることができるようにしている。⑤（上P.44、P.45） |
| | 3 外的要素 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全体に温かいイラストが使われている。① ○ 内容が精選されており、軽量化されている。① |
| | 4 構成・配列 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どものつぶやきは、親しみやすい手書きのフォントを使用している。① ○ 「ほっぷ」「すてっぷ」「じゃんぷ」の段階別に単元の中身を入れるし、繰り返しの活動や振り返りを自然な流れで進められる。①② ○ 各単元の終わりに振り返りをシールに書き、学年末にはそれを集めて1年間を振り返ることができる工夫がある。（上P.136ほか）② |
| | 5 資料・その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 野菜の大きな写真は、栽培活動の意欲喚起を促す。①（下P.20、P.21） |
| 特に工夫・配慮を要する点 | 1 大阪市教育振興基本計画等との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 通学路を含めて、安全に関する単元が上巻に少ないため、安全指導に課題がある。① |
| | 2 内容の取扱い | <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの具体的な活動例が少ないため、指導方法の工夫が必要である。① ○ 家族単元での家族の扱いに配慮を必要とする。④（下P.88） ○ 幼小連携の活動での幼稚園からの手紙の記載の取扱いに課題がある。⑦ |
| | 3 外的要素 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 植物や昆虫など実物の写真が少なく、指導方法の工夫が必要である。③（上P.112～） ○ 登場人物のイラストに課題がある。① |
| | 4 構成・配列 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの書いたカード、ワークシートなどが小さい。①（上P.65 下P.44、P.88ほか） ○ 「ひろがるせいかつじてん」のイラストや文字が小さく、実物の写真がない。②（上P.138～P.143、下P.98～P.103） |
| | 5 資料・その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 特になし。 |

| 生活 | | 啓林館（株式会社新興出版社啓林館） |
|--------------|--------------------|---|
| 総評 | | <p>友達、学校、学校で働く人、校庭の自然、地域の施設、地域の人 異学年交流など、子どもが安心して成長できる安全な社会の実現が示されており、集団や社会の一員として安全で適切な行動を身に付けることができる。</p> <p>生活科の学びの過程だけでなく指導者の支援の仕方が例示されている。生活科の学びの過程は、子どもにとっても学びやすい工夫があり、主体的・対話的で深い学びが実現できる。</p> <p>多様な学習活動が豊富にあり学習過程や成果を振り返ることで、自らの成長や学びの深まりを実感できるよう工夫されている。</p> <p>大阪市に在住している子どもたちには馴染みのある写真が少ない。どの地域でも共通するようなものを資料として記載する方が活用しやすい。</p> |
| 特に優れている点 | 1 大阪市教育振興基本計画等との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 友達、学校、学校で働く人、校庭の自然、地域の施設、地域の人、異学年交流など、子どもが安心して成長できる安全な社会の実現が示されている。① ○ わくわく いきいき ぐんぐん できるかな できたかな。ひろがる 気もちなど生活科の学びの過程が示されており、主体的・対話的で深い学びが実現できる。学習過程や成果を振り返り、自らの成長や学びの深まりを実感できるよう工夫されている。③ |
| | 2 内容の取扱い | <ul style="list-style-type: none"> ○ 紙面右下のめくり言葉の設定により、活動が単発的にならず、気付きが繰り返し深まる構成になっている。① ○ 子どもの日常生活から単元が始まり、指導者の支援の仕方も例示されており、子どもにとって学びやすく、指導者にとって、教えやすい工夫がなされている。② ○ 衛生面のへの配慮、災害・防災・減災への配慮 安心安全のページ、道具の使い方、調べ方、記録の仕方、交流方法、まとめ方、表現方法など、生活上必要な習慣や技能を身に付ける工夫がされている。③ ○ 「見つける」「比べる」「まねる」「試す」「工夫する」など多様な学習活動が豊富である。⑥ ○ 幼児期の写真から始まる「スタートブック」は、子どもたちにとっては、安心感につながり、指導者にとって、幼児教育の成果を生かす指導のヒントとなる⑦ |
| | 3 外的要素 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 製本が丈夫で重さも適切である。① ○ 文字の大きさ、文字の両、色使いなど適切に配置されている。② ○ 挿絵や写真などが鮮明。スタートブックの写真の配置も的確である。③ |
| | 4 構成・配列 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 他教科との関連も明記され、子どもたちも指導者も意識しやすい。① ○ 1年生から2年生とスムーズにつながり、また1・2年生の間に同じような繰り返しの活動が配置されていて、学びが深まりやすい。① |
| | 5 資料・その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統や文化に関する教育が充実している。① |
| 特に工夫・配慮を要する点 | 1 大阪市教育振興基本計画等との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ スタートカリキュラムの学校探検が学校全体での取り組みとなるように工夫が必要である。②上 P. 11 |
| | 2 内容の取扱い | <ul style="list-style-type: none"> ○ アレルギーへの配慮については、指導書への記載もいる。⑤上 P. 58、下 P. 42 |
| | 3 外的要素 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートのサイズをもう少し大きくすると活用しやすい。①下 P. 88、P. 89 |
| | 4 構成・配列 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 大阪市に在住している子どもたちには馴染みのある写真が少ない。どの地域でも共通するようなものを資料として記載する方が活用しやすい。①上 P. 98、P. 107 |
| | 5 資料・その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ スタートカリキュラムの大きな単元である学校探検では人と関わる活動が重要になるが、「あいさつめいじん」として、挨拶のしかたを丁寧に記載するのではなく、子どもたちに気付かせたり、全教職員で子どもたちの指導にあたりたりする方が指導方法に工夫が広がる。①上 P. 11 |

| 生活 | 日文（日本文教出版株式会社） | |
|--------------|--|--|
| 総評 | <p>「見つける」「比べる」「まねる」「試す」「工夫する」など多様な学習活動が豊富であり、友達、学校、学校で働く人、校庭の自然、地域の施設、地域の人、異学年交流など、子どもが安心して成長できる安全な社会の実現が示されている。</p> <p>生命の尊さや伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度を養う構成など道徳と生活科に関する紙面が充実しており必要な場面で児童の道徳的な意識が自然と芽生えるように配慮されている。</p> <p>視覚的に訴えるイラスト・写真の色に配慮を必要とするところがある。</p> <p>ワークシートの位置を固定化すると見やすい。</p> | |
| 特に優れている点 | 1 大阪市教育振興基本計画等との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 友達、学校、学校で働く人、校庭の自然、地域の施設、地域の人、異学年交流など、子どもが安心して成長できる安全な社会の実現が示されている。① ○ 生命の尊さや伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度を養う構成など道徳と生活科に関する紙面が充実している。⑤ |
| | 2 内容の取扱い | <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル（学習のめあて）、子どもの思いや願い（子どもの言葉）、右下に評価規準がある。さらに、子どもが活動をイメージできるイラストや写真、小単元の振り返り、次の活動へのつながりと見開きで分かりやすくまとめられている。子どもが学びやすく指導者も教えやすい工夫がなされている。② ○ 衛生面のへの配慮、災害・防災・減災への配慮 安心安全のページ、道具の使い方、調べ方、記録の仕方、交流方法、まとめ方、表現方法など、生活上必要な習慣や技能を身に付ける工夫がされている。③ ○ 「見つける」「比べる」「まねる」「試す」「工夫する」など多様な学習活動が豊富である。⑥ ○ 幼児期の写真から始まる「スタートブック」は、子どもたちにとっては、安心感につながり、指導者にとって、幼児教育の成果を生かす指導のヒントとなっている。⑦ |
| | 3 外的要素 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 製本が丈夫で現行の教科書より軽量化されている。① |
| | 4 構成・配列 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生から2年生とスムーズにつながり、また1・2年生の間に同じような繰り返しの活動が配置されていて、学びが深まりやすい。総合的な学習につながる工夫もされている。① ○ 板書を中心に、多様な表現方法の例示や話し合い活動の場面などが具体的に示され、若い指導者の授業づくりのヒントとなる。他者ではあまり見られない。② |
| | 5 資料・その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら学びやすい図鑑・資料が巻末のちえとわざのたからばこ、ポケットずかんに掲載されている。①② ○ 学習カードのフォーマットがダウンロードでき、働き方改革に効果的である。① |
| 特に工夫・配慮を要する点 | 1 大阪市教育振興基本計画等との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どものつぶやきが細かに記載されていて授業の流れや子どもの思考の流れが指導においてはヒントになるが、主体的な学びにつなげることに工夫が必要である。③ |
| | 2 内容の取扱い | <ul style="list-style-type: none"> ○ 特になし。 |
| | 3 外的要素 | <ul style="list-style-type: none"> ○ イラスト・写真の色に配慮を要する。（他者と比較すると）③ ○ ワークシートの位置を固定化すると見やすい。④ |
| | 4 構成・配列 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「きれいなはなをさかせたい」の単元で種、葉、つぼみ、はな、みの比較ができるように工夫しているが、折り目をつけると学習後、活用しにくい。②P. 37、P. 40、P. 42、P. 44 |
| | 5 資料・その他 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統や文化に関する記載に課題がある。①② |